

平成16年2月3日

## 少数台数のリコール届出の公表について（平成16年1月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成16年1月は下記のとおり4件の届出がありましたので、公表します。

## 1. 届出者：日産ディーゼル工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
1月15日	1025	車名：ニッサンディーゼル 型式：FJ550LN等 通称名：-	30	平成9年11月30日～ 平成15年10月17日
不具合の部位等	前軸油圧サスペンションブラケットの強度が不足しているため、走行時の振動及び衝撃により亀裂が発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると亀裂が進行し、車両姿勢が変化することにより、走行安定性が低下するおそれがある。			

## 2. 届出者：トライアンフジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
1月15日	外-1080	車名：トライアンフ 型式：SMTTJ901等 通称名：ボンネビルアメリカ等	43	平成13年10月1日～ 平成15年12月11日
不具合の部位等	後輪ブレーキリザーバタンクの取り付け位置が不適切なため、走行時の車両の傾き等により、ブレーキシステム内に空気が混入することがある。そのため、そのまま使用を続けると後輪ブレーキの効きが悪くなり、最悪の場合、後輪ブレーキが効かなくなるおそれがある。			

## 3. 届出者：日本ボルボ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
1月30日	外-1082	車名：ボルボ 型式：不明 通称名：ボルボFH12等	89	平成12年1月1日～ 平成14年9月18日
不具合の部位等	原動機において、原動機制御用コンピュータのプログラムが不適切なものがあるため、制御信号の発信が遅れることがあり、アクセル操作に対して原動機回転の反応が遅れる、または一時的にクルーズコントロールの設定速度と異なった速度となるおそれがある。			
備考	本届出は平成15年6月19日届出の「リコール外-1032」の に、新たに対象車両を追加するものである。			

4 . 届出者：日本ボルボ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
1月30日	外-1083	車 名：ボルボ 型 式：不明 通称名：ボルボFH12等	86	平成15年2月20日～ 平成15年7月31日
不具合の部位等	ギヤ・セレクトレバー（I-シフト）のシフト位置認識回路が不適切なため、当該レバーを水平位置（F位置）にするためのロック解除ボタン（Fボタン）を押した場合、その後R（後退）位置を認識しなくなるものがある。そのため、セレクトレバーをR位置にしてもギヤが切り替わらず車両が後退しなくなるおそれがある。			

〔参考〕

平成16年1月のリコール届出総件数	内 訳		
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	11件	10件	1件
輸入車	6件	4件	2件
計	17件	14件	3件

対象台数の追加の届出については届出件数に含みません。

（問い合わせ先）

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課 リコール対策室 森田、久手 電話 03-5253-8111（代表）（内線42352・42353）
--